

小野町地域新エネルギービジョンに基づく検証結果について

基本情報	策定年度	平成21年度			
	完了年度	令和2年度			
①ビジョンの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への新エネルギーの率先的な導入を行う。小野町内の小中学校に太陽光発電を導入するとともにその他の公共施設についても新エネルギーのシンボルとして導入を行う。 ・新エネルギーの情報発信などの普及啓発事業を行う。ホームページや広報紙などで新エネルギーに関する情報発信などを行う小中学校での新エネルギー出前講座等を実施する。 ・町民や事業所に対し、新エネルギー導入支援として、太陽光発電の導入費用の一部を助成する。 ・ビジョン策定後の社会情勢の変化や町民などからの要望により、普及・助成内容の見直しや、新たな機器への補助拡充を検討する。 				
②導入実績	エネルギー種別	プロジェクト名	導入目標量(GJ)	実績値(GJ)	達成率
	太陽光発電	小規模(発電量50kW未満)の太陽光発電導入	16,465	6,257	38.0%
	太陽光発電	大規模(発電量50kW以上)太陽光発電導入	-	246,975	-
	太陽光発電	公共施設に太陽光発電導入	329	362	110.0%
	木質バイオマス	ペレットストーブ導入	5,400	128	2.4%
	BDF燃料	BDF燃料の利用促進	119	0	0.0%
	中小水力発電	中小水力発電の導入	946	0	0.0%
	全体計			23,259	253,722
<p>※一般家庭1世帯の年間使用電力量=57.6GJ、小野町全体の発電量=4,404世帯分 (令和3年4月1日現在の小野町の総世帯数3,490世帯) ※データの一部に東北電力ネットワーク(株)提供の情報を含む。</p>					
③メガソーラー	FIT法に代表される国の新エネルギー施策、及び小野町の新エネルギービジョンを基幹とした積極的な企業誘致により、現在、町内では発電量1MW(メガワット)を超える「メガソーラー施設」が以下の3箇所で稼働している。				
	事業者名	所在地区	稼働開始日	想定年間発電量(kWh)	
	IP福島小野町ソーラー発電合同会社	小野山神	R元.11	36,890,000	
	福島さくらソーラー発電合同会社	南田原井	R2.2	16,830,000	
日本再生可能エネルギー(株)	塩庭	R2.8	37,441,000		
④普及啓発	エネルギー種別	プロジェクト名	実績		
	新エネルギー全般	新エネルギー情報発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙、ポスター、チラシなどにより環境問題や新エネルギーに関する情報発信の実施。 ・小中学校で新エネルギー出前講座の実施。 ・親子向け新エネルギー施設見学会の実施。 ・町民向けの新エネルギー講演会の実施。 		
⑤推進体制	<p>【庁内推進体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係各課で構成される「新エネルギー推進委員会」を設置し、ビジョン実現に向けた具体的な方策の検討、普及啓発活動などに施策の検討、事業内容の評価などを行った。 ・その後、ビジョンの推進やFIT法の制定などにより、広く新エネルギーの概念が普及したことから、平成30年度に策定した小野町総合計画の中では、新エネルギーの更なる普及を目標として定め、町の重要かつ普遍的な施策の一つとして、全庁的に新エネルギー施策の推進・検証を行い、事業を実施している。 <p>【補助制度の創設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度から町民、事業所に対し太陽光発電の導入費用の一部を助成する小野町新エネルギー補助金を創設し、令和2年度までに154件(補助額15,237千円、補助対象事業による発電量753.76kW)の助成を行った。 				
	<p>【フォローアップ体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係各課で構成される「庁内推進委員会」によりビジョンに基づく各種施策について、定期的な見直しを行った。また、平成30年度からは、新エネルギーの普及に伴い総合戦略の中で新エネルギーの更なる普及を目標とし、全庁的に新エネルギー施策の推進・検証を行いながら、事業を実施した。 <p>【情報公開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの普及啓発活動、小野町新エネルギー補助金等の取り組みを町webページや広報紙などで情報公開を行った。 				
⑥その他					